

## スッカン沢と桜沢沢登り山行報告

【日 時】 7月9日(土)～10日(日)

【山 域】 那須塩原 矢板市

【山行方法】 沢登り

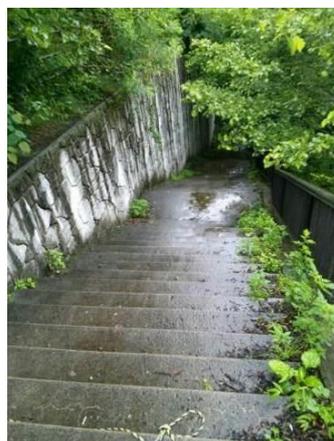
【参加者】 CL 狩野、萱野(宏)、時田(食料)、加藤(記録)

【内 容】

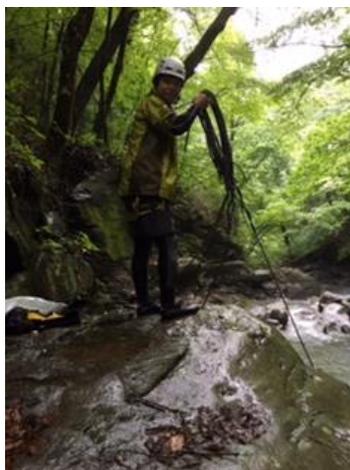
塩原温泉の南側、高原山を水源とするスッカン沢と桜沢は遊歩道が整備されてはいるが震災による崩落のため通行止めになっている箇所がある。沢登りというより癒しの沢ハイクに相応しい溪流歩きを楽しんできました。

7月9日 小雨 スッカン沢沢下り

駐車場の脇の鹿股川雄飛橋にある遊歩道入り口(原則立入禁止)階段を下りると遊歩道が崩落しており、荒れた印象である。



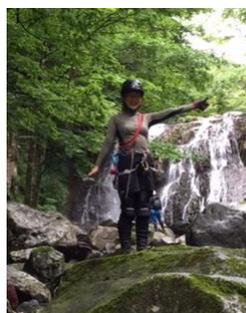
すぐ水流の中に進路をとる。火山の成分が水に含まれているので白濁して淵は青みがかかっている。暫く行くと右岸の岩盤のあちこちから白糸の滝の様に水が滴り落ちている所が続く。青い淵の岩場で懸垂下降の練習を行う。



遊歩道(よく整備されている)に出て仁三郎の滝、雄飛の滝(展望台あり)を上から眺める。橋を渡るとカツラの巨木が聳え立ち大休止、ここから遊歩道は崩壊し跡形もない。柱状節理の柱のような岩の斜面を見上げながら傾斜の緩い沢を下ると桜沢と合流する。



桜沢に入るとすぐの咆哮霹靂(ほうこうへきれき)は明日の楽しみにとっておく。雨足が強くなり、スッカン沢に引き返し往路を遊歩道を利用し戻った。



雨の中カエルも  
元気がいい！  
ちょっと迷惑そ  
うだったけ  
ど・・・



今夜の宿泊場所は栃木県民の森キャンプ場、テントサイト×2 ¥1080、シャワー5分間で¥100、と格安である。CLのKさん所有のコールマンの広々としたテント、タープを設営し、焚火が赤々と燃え盛る。Tさんの手料理に舌鼓を打ち、ゆったりと椅子に腰掛けて至福のときを過ごす。やがて雨も止み、満天の星空が見えてきた。



7月10日 晴れ 桜沢沢登り

鳥の声で目覚めると快晴である。あせらずゆっくりと朝食を取り、出発地の山の駅たかはらに駐車する。案内板もある滝巡りの遊歩道を利用し桜沢の沢音が聞こえるようになると沢で遊んでいる人もかなりいた。吊橋を渡ると昨日立ち寄った咆哮霹靂の滝の下に着いた。





左側のルンゼを高巻くとナメが続き癒し系の沢歩きを楽しんだ。ライレイの滝ではロープを出して正面を攀じる。沢は平凡になり、巨岩帯、伏流となりそろそろ飽きたころ、紺碧の水をたたえた、おしろじの滝が出現した。落ち口にはコケが生え、暫く水は流れていないようだ。男性2名は滝壺に飛び込んだが、水は相当冷たいようだ。上から覗き込むと井戸の底のようである。



ここで遡行を終えて踏み跡を辿り車道に出て山の駅たかはらに戻った。ソフトクリームを味わい、奥塩原温泉のひなびた立ち寄り湯「むじなの湯」の白濁した温泉で山行の汗を流し、鬼怒川経由で千葉に戻った。



今回の沢はたいてい1日でスッカン沢を下降し、桜沢を上げるのが定番であるが、ゆったりと2日間かけて登るのも味わいがあったといいなと実感しました。